

# 国民健康保険制度改革に伴う対応について

## 平成30年度仮係数による算定について

### 1 平成28年度収納すべき保険料額との比較

	平成30年度試算額 (A) (円)	平成28年度収納すべき保険料額 (B) (円)	伸び率 (A/B)
東京都	152,511	144,936	105.2%
小平市	144,524	138,252	104.5%

※小平市の激変緩和措置額は、19,377千円（都全体では約40億円）。保険料必要総額から減算。

### 2 標準保険料率

	試算結果		現行	
	所得割(%)	均等割(円)	所得割(%)	均等割(円)
医療分	7.24	41,180	5.35	22,500
後期高齢者支援金分	2.33	13,221	1.85	10,900
介護保険分	2.08	15,523	1.27	15,600

※30年度試算は、前回推計に比べ、給付費総額は65億円増、被保険者数は21万5千人減（△6%）、一人当たり給付費等は19,609円（+8%）を見込む。

※70歳から74歳人口が29年度から団塊の世代が70歳に到達し始め、増加傾向に転じる（27年、28年に70歳に到達する世代が東京大空襲や太平洋戦争激化の時期に該当し人口が少ない。）。

※70歳以上の被保険者の自己負担割合は、世帯の所得に応じて1割～3割に区分される。これまで自己負担割合が3割だった被保険者が70歳に到達し、2割になるケースの増加が見込まれる（保険者の負担増）。

#### <参考 前回試算>

#### 平成27年度収納すべき保険料額との比較

	平成29年度試算額 (A) (円)	平成27年度収納すべき保険料額 (B) (円)	伸び率 (A/B)
東京都	144,391	145,019	99.6%
小平市	137,370	135,244	101.6%

#### 標準保険料率

	試算結果		現行	
	所得割(%)	均等割(円)	所得割(%)	均等割(円)
医療分	6.65	38,742	5.35	22,500
後期高齢者支援金分	2.23	12,802	1.85	10,900
介護保険分	2.01	14,657	1.27	15,600

## 30・31年度 財政推計について

被保険者数：30年度 39,500人（△5.2%） 31年度 37,900人（△4.1%）

### 【歳入】

（単位：千円）

款	平成30年度推計	平成31年度推計	
			伸率
1 国民健康保険税	3,359,000	3,200,000	-4.7%
6 都支出金	11,120,000	11,085,000	-0.3%
保険給付費等交付金	10,885,000	10,850,000	-0.3%
その他 交付金	235,000	235,000	0.0%
10 繰入金	2,500,000	2,476,000	1.4%
一般会計繰入金	2,500,000	2,436,000	-2.6%
法定繰入	912,100	912,420	0.0%
その他繰入	1,587,900	1,523,580	-4.1%
運営基金繰入金	0	40,000	-
11 繰越金	20,000	20,000	0.0%
その他の収入	25,000	25,000	0.0%
合計	17,024,000	16,806,000	-1.3%

※ 保険税は現行税率で算出

※ 繰入金はその他繰入を被保険者一人当たり40,200円と見込む（前回改定時に設定した上限）。被保険者数×40,200円として算出

※ 31年度に運営基金を40,000千円取り崩す（29年度末残高見込み：44,000千円）。

### 【歳出】

（単位：千円）

款	平成30年度推計	平成31年度推計	
			伸率
1 総務費	213,000	227,000	6.6%
2 保険給付費	10,979,000	10,900,000	-0.7%
3 国民健康保険事業費納付金	5,643,000	5,600,000	-0.8%
5 保健事業費	210,000	210,000	0.3%
8 その他	51,000	51,000	-0.2%
合計	17,096,000	16,988,000	-0.6%

※ 国保事業費納付金（新規）

歳入 - 歳出	△ 72,000	△ 182,000	
---------	----------	-----------	--

※ 2か年で 約2億5,400万円 の不足が生じる。